

読書習慣と公立図書館（室）設置に関するアンケート調査報告書

与那国町教育委員会

令和元年8月15日

(文責：主事 杉本 夏代)

調査の概要

1 調査の目的

公立の図書館（室）や書店のない本町における町民の読書習慣と、今後の公立図書施設の設置の必要性を把握するため、アンケート調査を実施する。

2 調査の種類

小中学生調査：町内在住の全小中学生を対象（小学1～6年生、中学1～3年生）

保護者調査：町内在住で0～15歳までの子どもがいる保護者を対象

- ①町内保育所・幼稚園・小学校・中学校を通して配布、回収
- ②上記に通所・通学がない子どものいる保護者は子育てサロンや福祉まつり、移動図書館にて直接配布、回収

一般町民調査：町内在住の住民（18歳以上）を対象

- ①福祉まつりと移動図書館にて直接配布、回収
- ②比川共同売店内にアンケート箱設置、回収
- ③町役場職員へ直接配布、回収（保護者調査の①に該当する職員への配布は行わない）
- ④町内で活動する読書グループへ直接配布、回収
- ⑤社会福祉協議会のデイサービスにて聞き取り調査の実施、回収
〃 の職員へ直接配布、回収

3 調査期間：平成30年11月19日（月）～平成30年12月3日（月）

令和元年4月20日（土）～令和元年4月21日（日）

4 配布・回収状況

配布・回収状況は以下のとおり

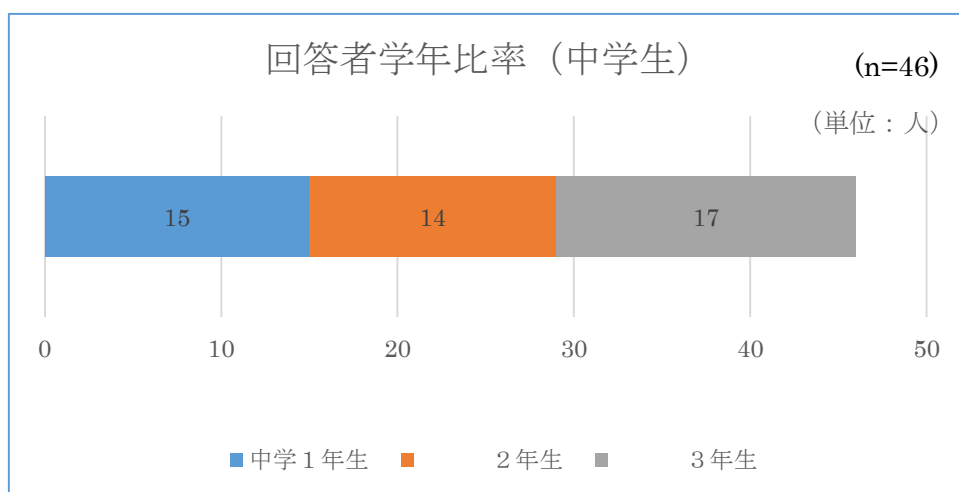
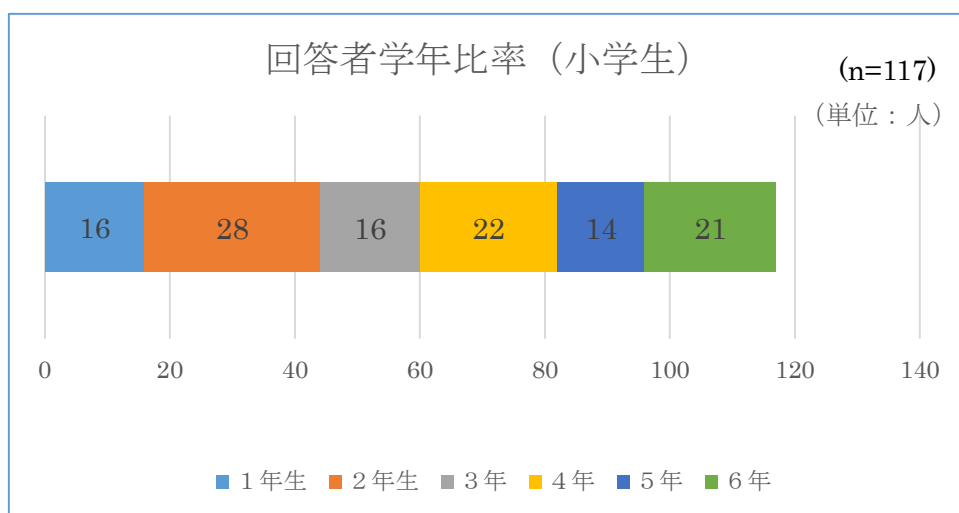
	有効配布数	有効回収数	有効回収率
小中学生調査	169	163	96.4%
保護者調査	204	142	69.6%
一般町民調査	215	132	61.4%

5 留意事項

- ①集計結果の％は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としている。
- ②複数回答の設問は、集計結果の合計が100％を超える場合がある。
- ③nは各設問における回答者数である。
- ④一部、選択肢を省略して表記している場合がある。
- ⑤保護者調査は兄弟姉妹の通所・通学により同一世帯からの複数回答が含まれている可能性がある。

1 小中学生調査

1) 回答者の内訳

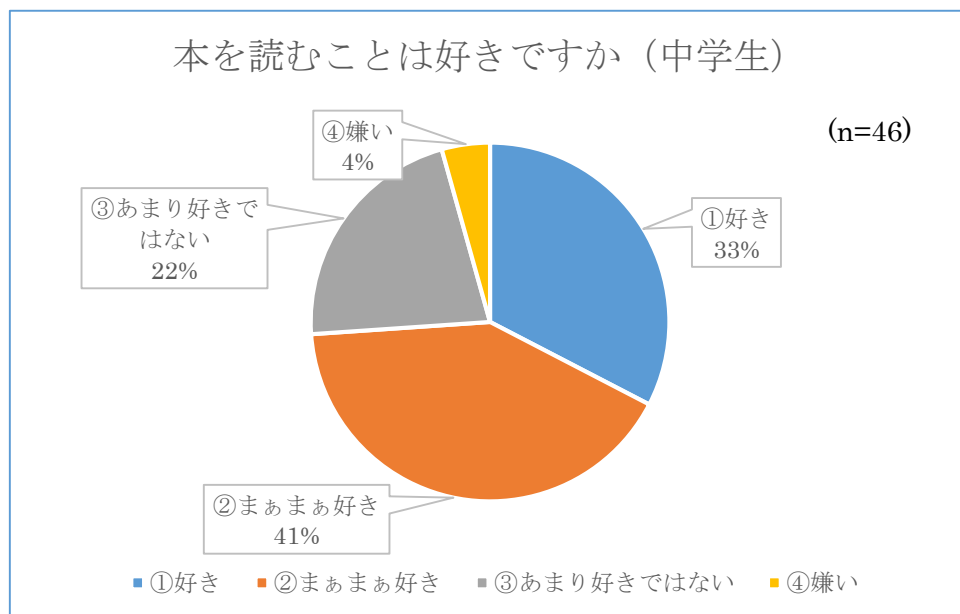
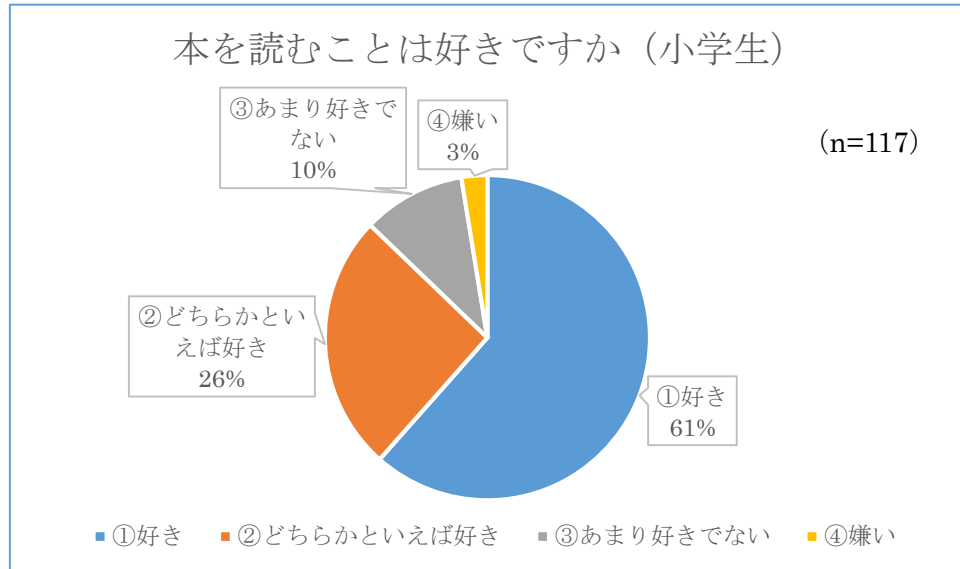


2) 読書の意識と習慣について

■設問2 あなたは本を読むことは好きですか

小学生では「好き」「どちらかといえば好き」を合わせると87%となり、中学生では74%と数値がやや低くなっている。

「どちらかといえば嫌い」「嫌い」な児童生徒はどの学年においても見られる。



■設問3 あなたは1か月にどのくらい本を読みますか (まんがを除く)

小学生では「10冊以上」読む児童が51%と半数にのぼった。そのうち1年生全員が10冊以上と回答。また、5年生の約60%と2年生の50%も「10冊以上」と回答した。

「まったく読まない」と回答したのは6年生の2名である。

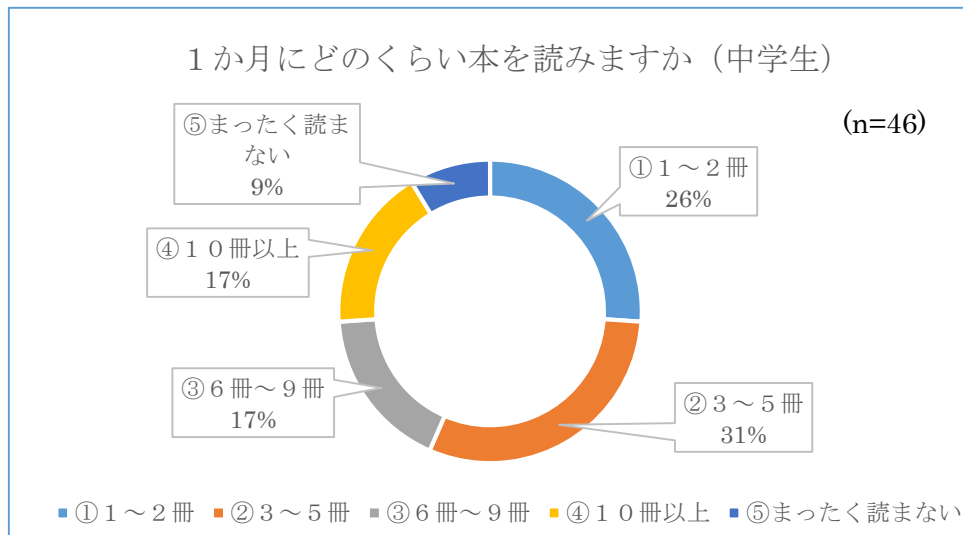
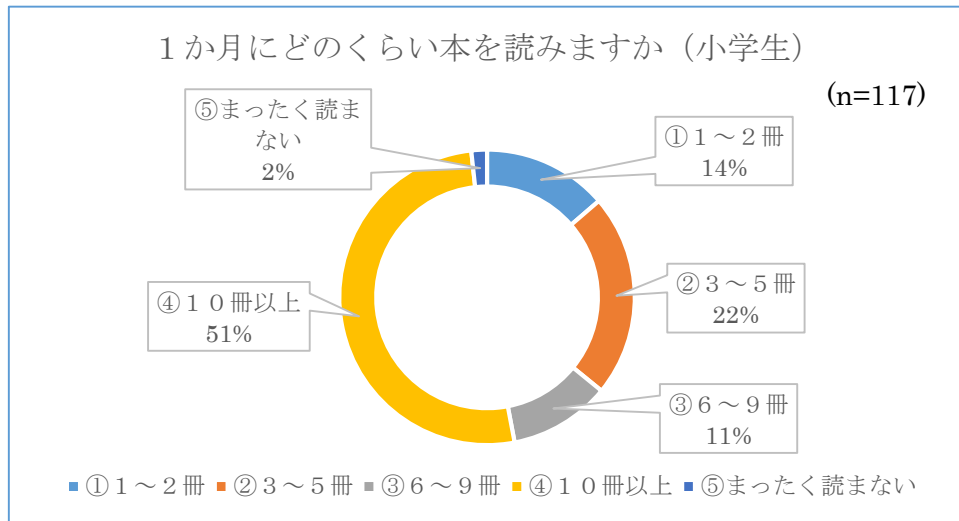
設問4にて本を読まない理由を問うと「本が好きでない」「読みたい本が手近にない」「スマホ・テレビ・ゲームに時間をかけたい」「他の趣味に時間をかけたい」がそれぞれ

1票ずつ選択された（回答は複数回答可）

中学生では「3冊～5冊」が31％と一番多く、次いで「1～2冊」26％、「6冊～9冊」と「10冊以上」が17％と続く。「10冊以上」と回答したのは2年生と3年生で、「まったく読まない」を選択したのは1年生が2名と2・3年生が各1名ずつであった。

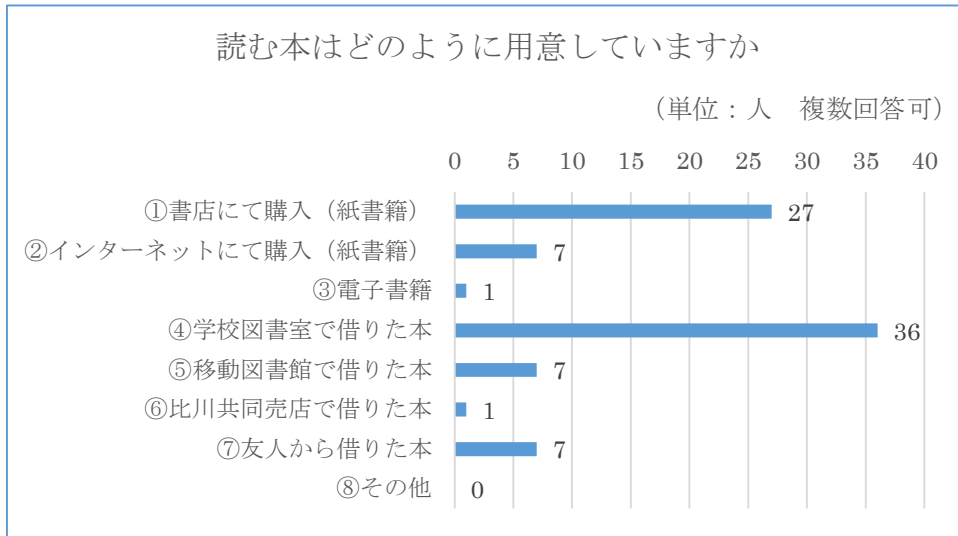
「まったく読まない」人数が小学生に比べ、中学生では多い傾向である。

中学生が本を「まったく読まない」理由として「本が好きでない」「他の趣味に時間をかけたい」がそれぞれ2票ずつ、「読みたい本が手近にない」「他の趣味に時間をかけたい」がそれぞれ1票ずつ選択された。



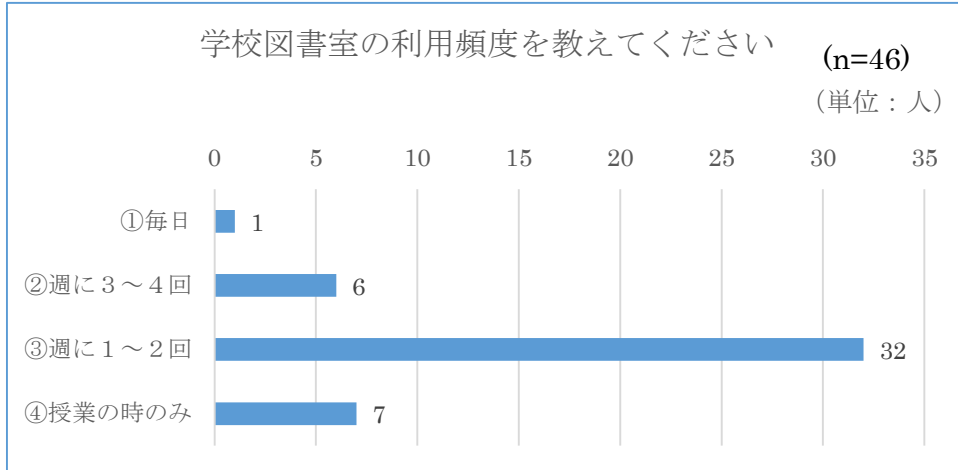
■設問4 読む本はどのように用意していますか（この設問は中学生のみ）

「学校図書室で借りた本」が36人と一番多く、次いで「書店にて購入」が27人と続いた。学校図書室の重要性が伺える。



■設問5 学校図書室の使用頻度を教えてください（この設問は中学生のみ）

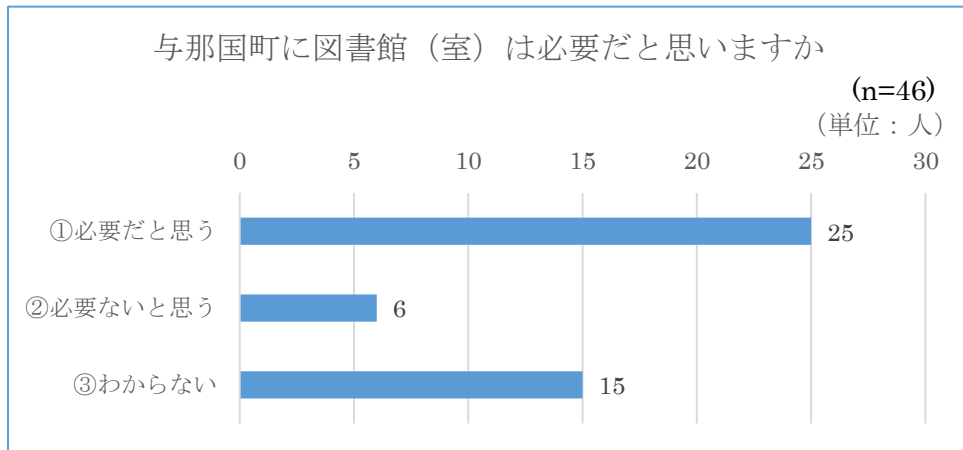
「週に1～2回」が32人と最も多く、次いで「授業の時のみ」が7人、「週に3～4回」が6人と続く。本を借りて持ち帰り読書する生徒だけでなく、本を借りずに図書室で読書する生徒がいることも設問4に照合することで、推測できる。



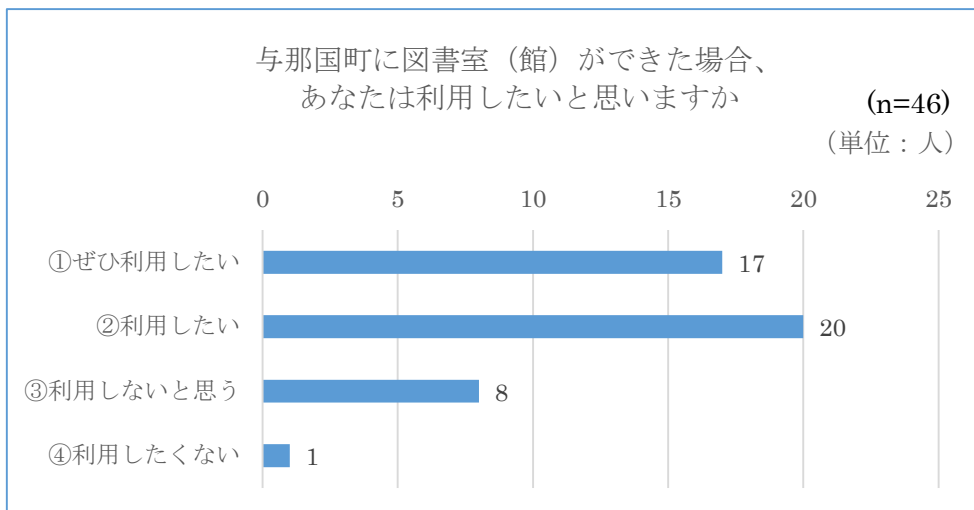
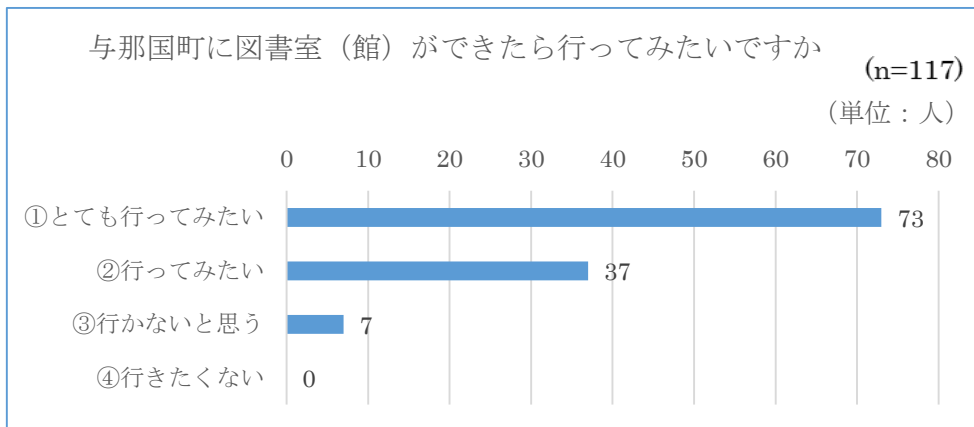
3) 町営図書館(室)設置の必要性について

■設問6 与那国町に図書館(室)は必要だと思いますか（この設問は中学生のみ）

「必要だと思う」が25人となった。一方で「わからない」と回答した比率が約33%と、他の調査より値が高くなっている。「必要ない」「わからない」理由を問う設問がなかったため選択した理由は不明(学校図書室があるから必要ない、規模が分からないから何とも言えない、など何かしら考えがあると思われる。これは他の調査も同様に言えることである)

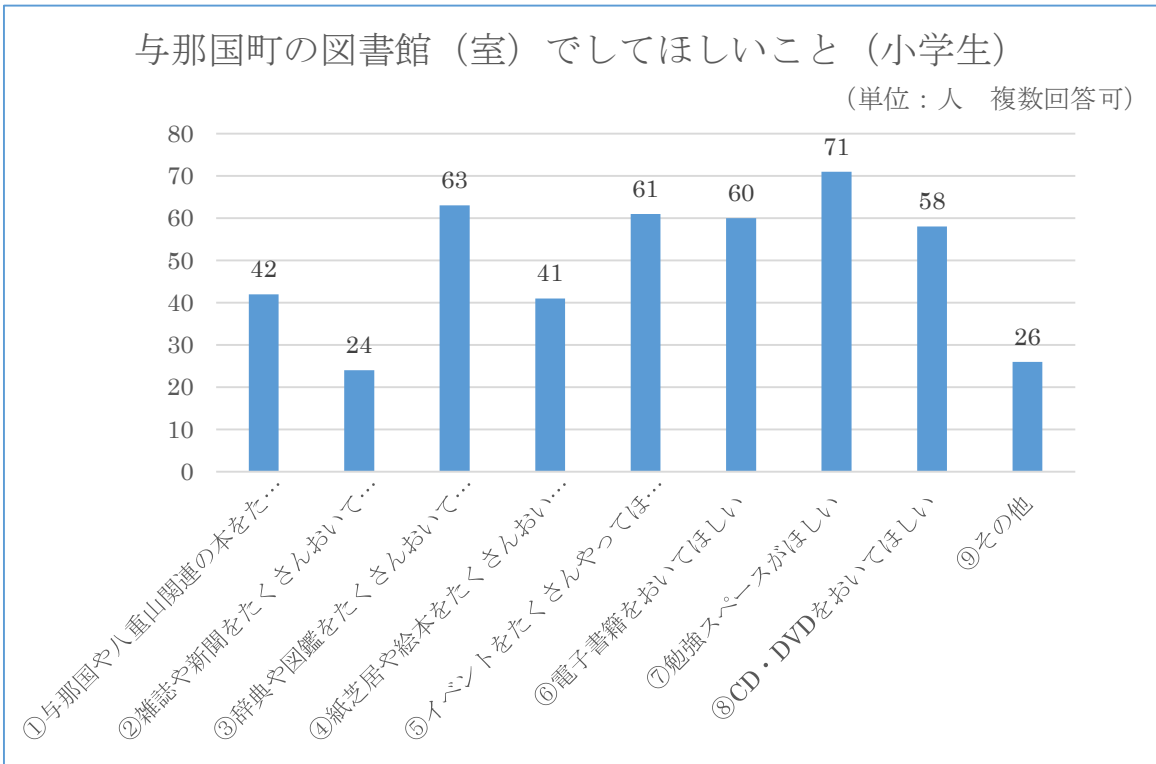


- 設問7 与那国町に図書館（室）ができた場合、あなたは利用したいと思いますか
 (小学生：与那国町に図書館（室）ができたなら、あなたは行ってみたいですか)
 小学生：「とても行ってみたい」「行ってみたい」を合わせると、およそ94%の児童が町営図書館（室）に興味・関心を持っていることがわかる。
 中学生：「ぜひ利用したい」「利用したい」を合わせると、小学生より数値は下がるがおよそ80%の生徒が町営図書館（室）の利用希望があることがわかる。「利用したくない」と回答した生徒の具体的な理由の明記はないが、設問2、設問3において「嫌い」「まったく読まない」を選択していることからそれが理由ではないかと推測できる。



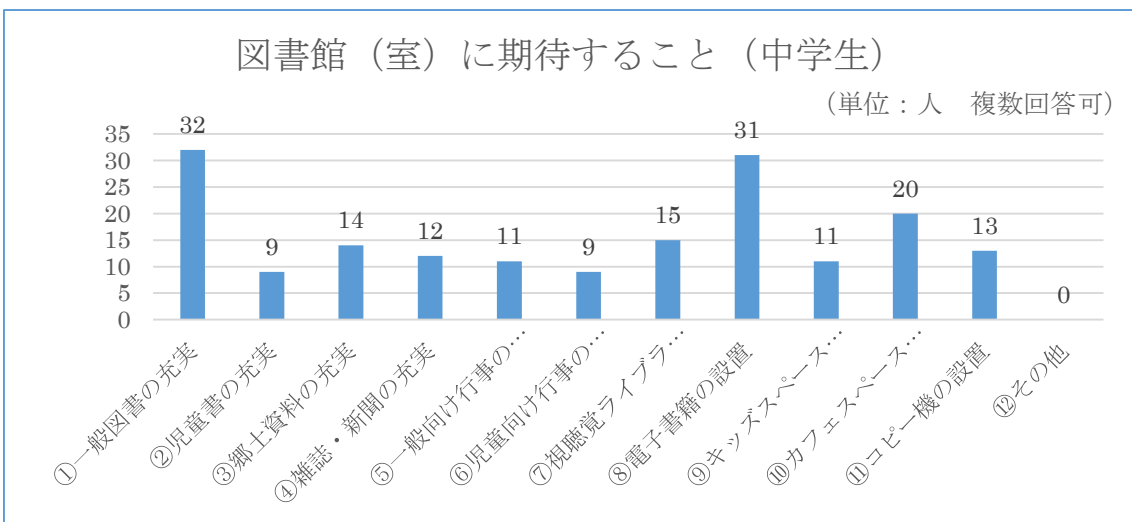
■設問8 町営図書館（室）に期待することは何ですか（複数回答可）

（小学生：与那国町の図書室でしてほしいと思うことは何ですか）



その他の意見として・・・（抜粋）

- 「勉強を教えてくれる図書室がほしい」「みんながおもしろい図書室」
- 「まんがおいて」「ソファを置いてほしい」
- 「勉強に役立つ本を置いてほしい」「明るくてきれいな図書室」
- 「ハンモックがあってほしい」「1人で静かに勉強のできるところがほしい」
- 「水飲むところがほしい」「パソコンスペースがほしい」
- 「個室がほしい（勉強ができる）」「みんながいつも行けるような場所につくってほしい（久部良・祖納・比川共通で使えるように）」
- 「幼稚園の子も楽しめるような紙芝居の読み聞かせや、小学生も利用できる勉強できるスペースなどいろんな人が来れて楽しみながら利用できる図書館がほしい」



その他の意見として・・・（抜粋）

- 「授業やこの町の本が読みたい」 「学習スペースが整った町営図書室があればと思う」
- 「みんなの意欲アップにつながる図書館」 「図書館にバスを通してほしい」
- 「作ってください」 「土日曜日にみんなで学習できるスペースがほしい」
- 「欲しい本の希望調査をすること」 「参考書などを充実させてほしい」
- 「勉強できるスペースでコーヒーやカフェオレが飲めるスペース」

設問9 読みたい本を教えてください

小学生

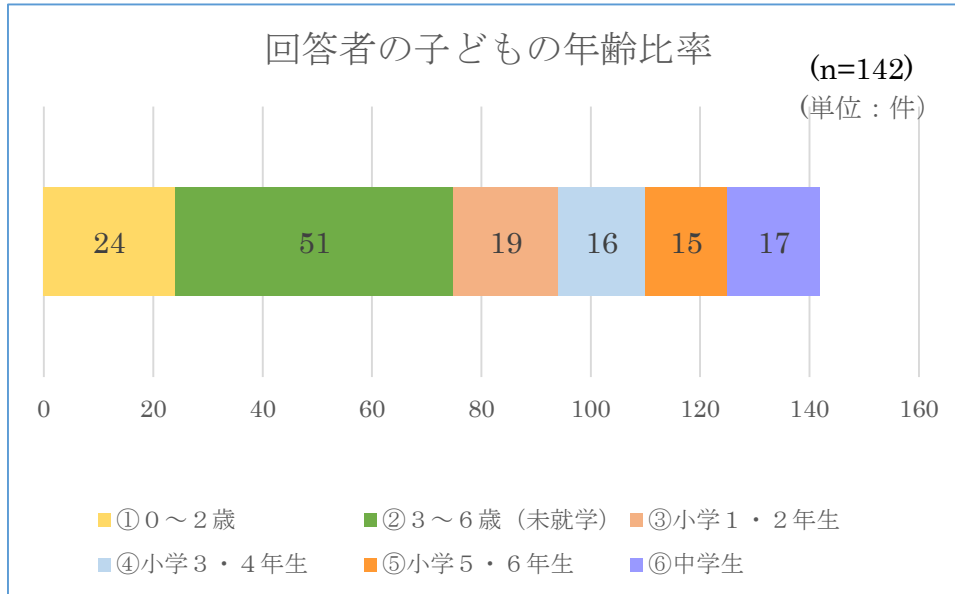
- 1年：「かいけつゾロリ」「おしりたんてい」「歴史図鑑」「危険生物の本」「ほねほねザウルス」「なぞなぞの本」「みっけ」「自動車や飛行機の本」「動物の本」
- 2年：「にじいろの魚」「魚・恐竜の図鑑」「クワガタ・カブトムシの本」「動物の本」「昔話」「料理の本」「クイズの本」「なぞなぞの本」
- 3年：「かいけつゾロリ」「恐竜・花・危険生物・きのこの図鑑」「ほねほねザウルス」「マジックツリーハウス」「ポケモン」「ドラゴンボール」「ワンピース」「妖怪ウォッチ」「自分で作る工作の本」「野球の本」「映画の本」
- 4年：「江戸川乱歩」「怖い話」「植物の図鑑」「名探偵コナン」「ヨシタケシンスケ」「デルトラ・クエスト」「迷路の本」
- 5年：「ひみつのようせいハウス」「馬に関する本」「ルルとララ」「なんでも魔女商会」「マジックツリーハウス」「料理の本」「海の生き物の本」「ディズニーの本」「TWICE・BTSのCD」「怖い話」「ういらぶの本」
- 6年：「ジブリの本」「おそ松さん」「黒魔女さんが通る！！」「若おかみは小学生」「青い鳥文庫の本」「マジックツリーハウス」

中学生

- 1年：「着信アリ」「リング」「フィクション系の小説」「住野よるの作品」「太平洋戦争の本」「Myojo」「グレッグのダメ日記」「ドラえもん」「数学系の本」
- 2年：「おーい！ 竜馬」「走れ！ T校バスケット部」「ダ・ヴィンチ」「音楽系雑誌」「青い鳥文庫の本」「ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか シリーズ」「転生したらスライムだった件について」「陸上の本」
読みたい作者の本→伊坂幸太郎、あさのあつこ、恩田陸、クリフ・マクニッシュ、中村航、竹宮ゆゆこ、桜庭一樹、こうの史代、みゆ、吉本ばなな、有川浩、原田マハ、東野圭吾、ステファニー・メイヤー
- 3年：「僕のヒーローアカデミア」「空想科学」「ホラーの怪談シリーズ」

2 保護者調査

1) 回答者の内訳



2) 読書の意識と習慣について

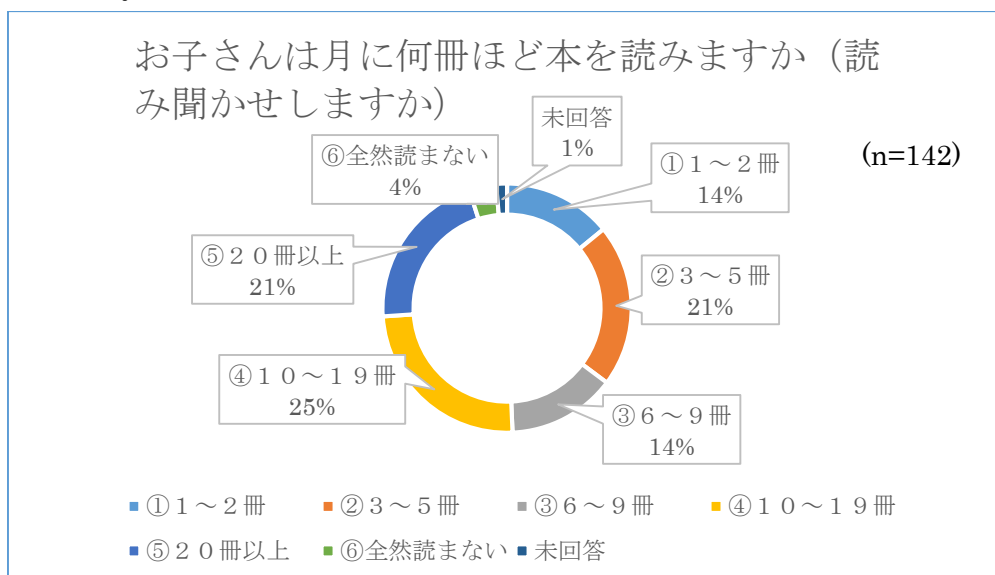
■設問2 お子さんは月に何冊ほど本を読みますか (まんがを除く)

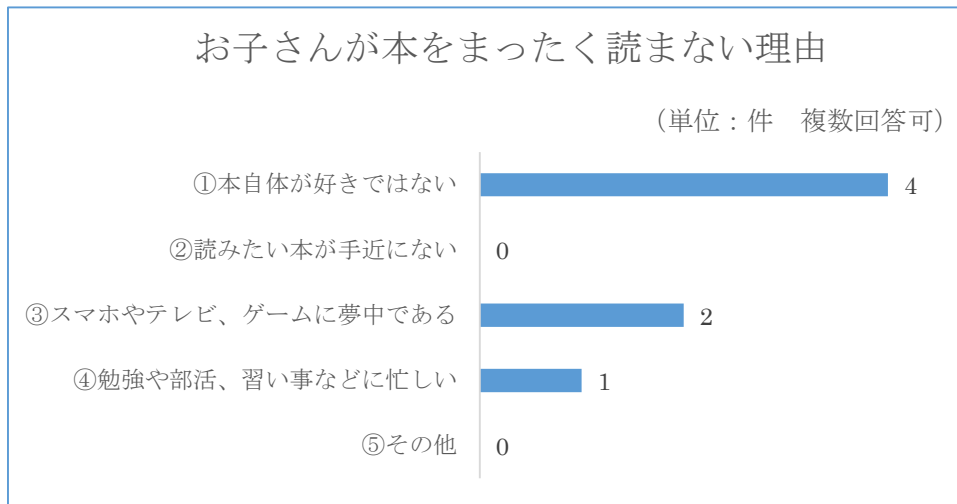
「10冊～19冊」が25%と一番多く、次いで「20冊以上」「3～5冊」が21%と同率で続いた。

特に「3歳～6歳」の67%と「小学3・4年生」の47%が10冊以上の本を読んでいる結果となった。

「全然読まない」と答えた年齢の内訳は「0歳～2歳」2件、「小学1・2年」1件、「中学生」2件である (ただし、小中学生調査では小学1・2年で「まったく読まない」と回答した児童はいないため、家庭以外の場所で読書をしている可能性も考えられる)

子どもがなぜ本を読まないか、保護者目線で理由を回答してもらった内訳が以下のとおりである。

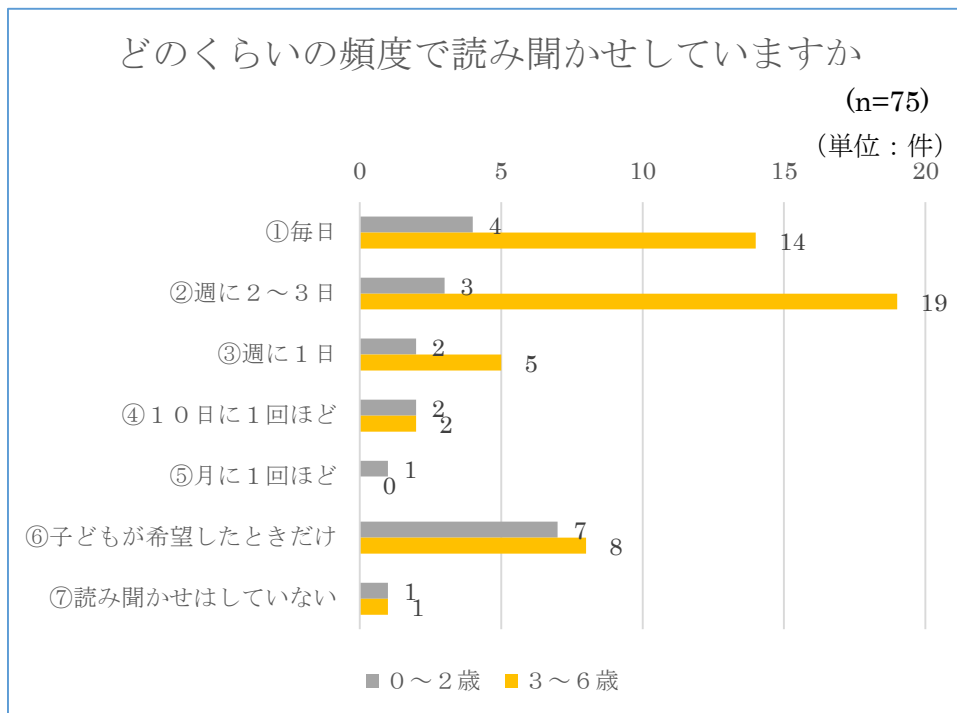




■設問3 お子さんにどのくらいの頻度で読み聞かせをしていますか

(0～6歳の未就学児童の保護者対象)

読み聞かせをしていないと回答した方に理由を問うと「自身が本を読む習慣がない」「保育所におまかせしている」との回答を得た。



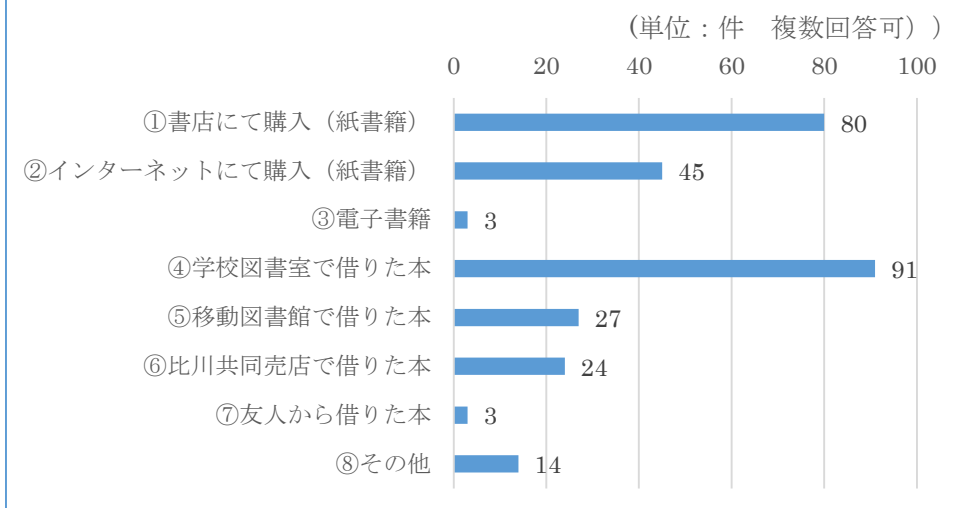
■設問4 お子さんが読む本（読み聞かせする本）はどのように用意していますか

「学校図書室で借りた本」が91件と一番多く、次いで「書店にて購入」が80件と続いた。

移動図書館と比川共同売店の利用がそれぞれ20件代に留まっているため、移動図書館開催や、館外協力貸し出し等周知をさらに行う必要がある。

その他として「町からもらったもの（ブックスタート）」「保育所で買う」「幼稚園で借りてきた本」「祖父母や地域の方からいただいた本」などがあがった。

お子さんが読む本はどのように用意していますか

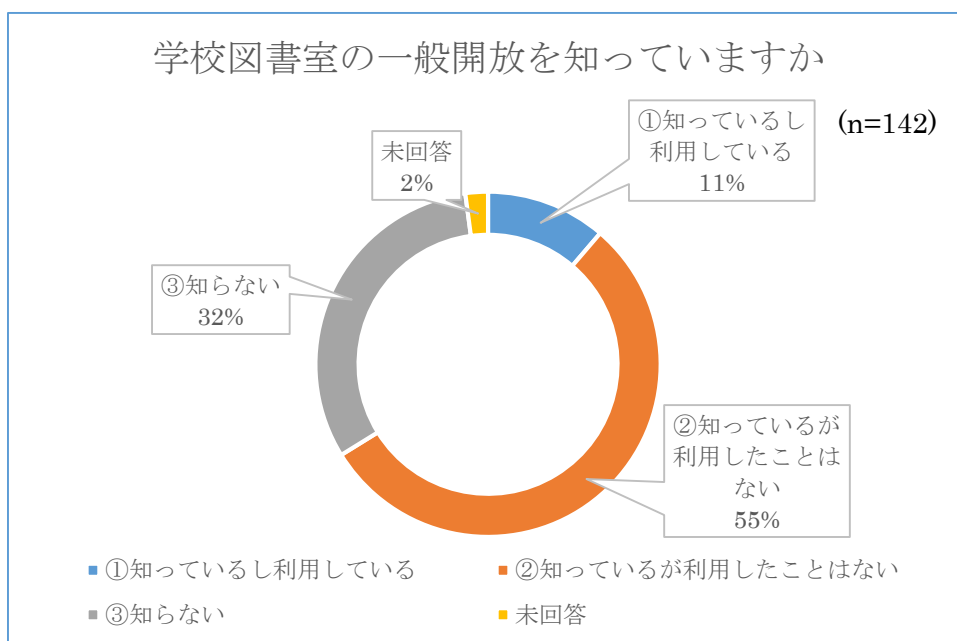


■設問5 学校図書室の一般開放についてご存じですか

「知っているし利用している」が11%に留まった。「知っているが利用したことがない」の理由として、「平日の一般開放のため仕事で利用することができない」「児童生徒の授業中、校内に立ち入ることに気が引ける」との意見が上がっている。

また、「知らない」との回答も32%あることから、一般開放実施についての周知を行っていく必要がある。

学校図書室の一般開放を知っていますか



3) 町営図書館（室）設置の必要性について

■設問6 与那国町に図書室（館）は必要だと思いますか

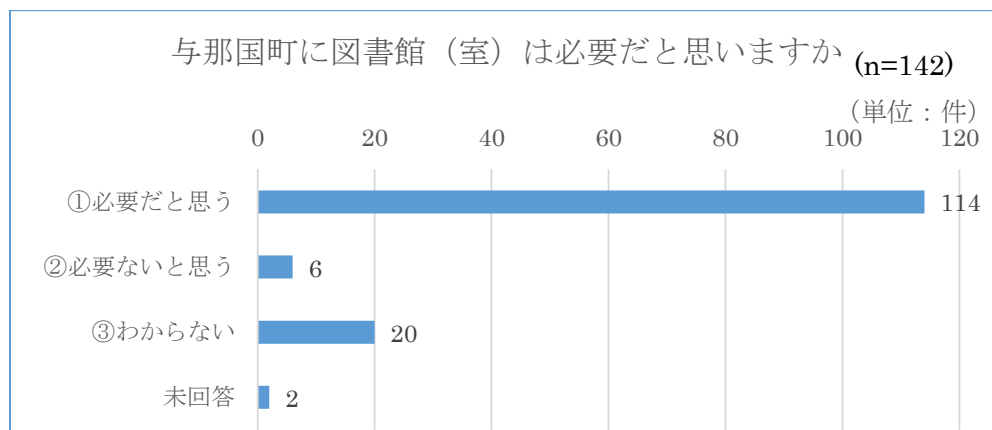
回答者の80%である114件が図書室（館）は「必要」と回答した。

「必要」と回答した方の自由意見として下記のとおり。（抜粋）

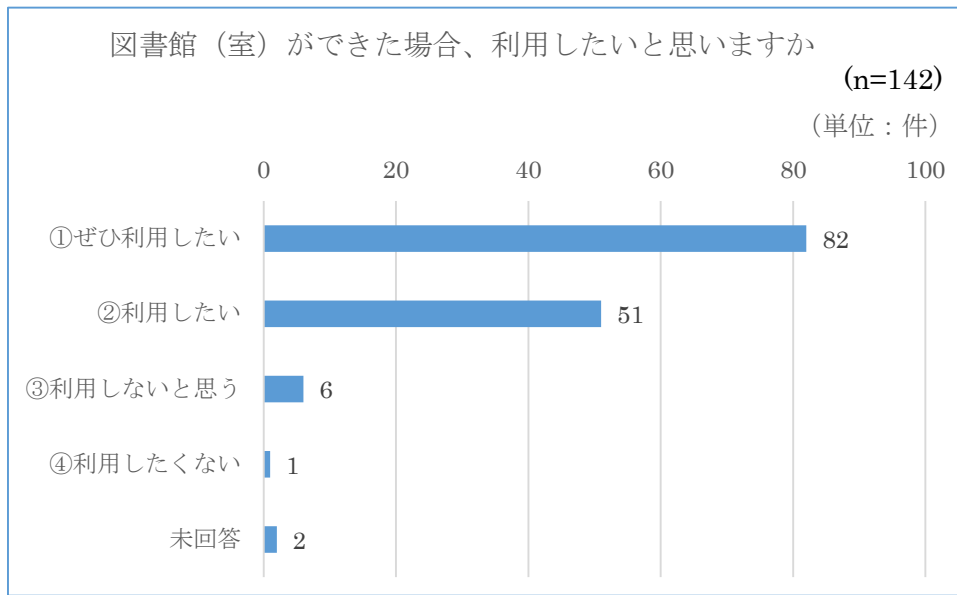
- ・絵本を色々読ませてあげたいが、買うのに限られてしまうので、図書館があればありがたいです。
- ・空飛ぶ図書館のように、常に与那国町にたくさんの本がある「図書館」があったらうれしいです。
- ・与那国に転居してきたばかりですが、一番ざんねんなことが図書館がないことでした。ぜひ図書館を作ってほしいです。本を読んだり勉強したり、DVDみたり、友達と話したりコミュニケーションの場になるとと思います。
- ・他地域との文化的格差を縮めるためにも、図書館は必要なものと思います。是非実現していただきたいです。特に子どもたちは本からたくさんの知識を得てほしい。
- ・学校の一般開放は知っていますが、仕事で行くことができないので、利用したいが出来ない現状です。図書室ができると良いですね。本好きな大人もたくさんいるのでできれば嬉しいです。
- ・町民はもとより、観光客や仕事で来島された方も気軽に立ち寄れる図書館ができると良いと思います。
- ・図書館を作ってほしいです。
- ・小さな図書館でいいので、移動図書館や比川売店のように、借りたい本を取り寄せたり、本が循環すると行く楽しみにもなります。
- ・ぜひとも図書館をつくっていただきたいです

「必要ない」「わからない」と回答した方の自由意見として下記のとおり。（抜粋）

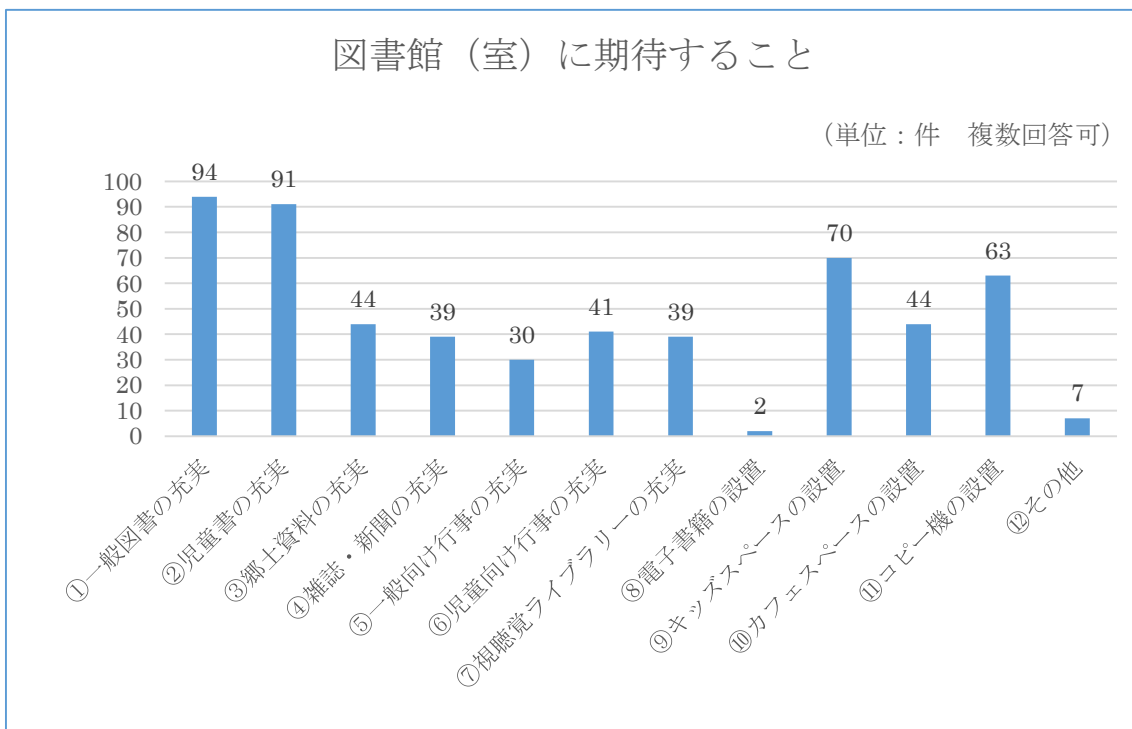
- ・移動図書館がどのくらいの頻度であるのかよく知りませんが、移動図書館が充実していれば町営図書館はなくてもいいです。
- ・人口に対して図書館を設置するのはコストがかかり過ぎると思うので、学校の図書室を利用できるのは良いと思うが、授業中に外部の人間が校内を動き回るのは気が引ける。



- 設問7 与那国町に図書館（室）ができた場合、あなたは利用したいと思いますか
「ぜひ利用したい」「利用したい」を合わせると、回答者の94%が利用したい意向を示した。



- 設問8 図書館（室）に期待することで、該当する番号に○をつけてください
(複数回答可)



その他の意見として・・・（抜粋）

「学習スペース」 「土日、21時頃まで利用が可能」

「幼児が本に親しみやすい雰囲気」 「子どもに邪魔されない静かな所」

「海に見える図書館」

「図書館で勉強ができるようにテーブル、椅子の数は多い方がいい」

「公共交通を整えてほしい」 「仕事帰りに利用可能」
「親子で利用できるように、大人向けの小説や雑誌・専門書などもそろえてほしい」
「子どもだけでなく、全世帯が利用できる様な施設を希望します」
「各学校には図書室があり、図書購入に予算を充てていたり寄贈があっただいぶ充実しているように思うので、学校の図書室にはないもの（こと）を期待したい」
「子ども向けの本を充実してほしい」

■ 9 図書館に置きたい本のタイトルや作者、雑誌名等記入してください

0～2歳

「ミヒヤエルエンデ」 「モーリスルブラン」 「エルマ-と竜」 「ナルニア国」 「赤毛のアン」
「シートン動物記」 「宮沢賢治」 「クレヨン王国」 「コナンドイル」 「マークトゥエイン」
「どくとるまんぼう」 「ポケットの赤ちゃん」 「青い鳥文庫」 「コロボックル物語」 「ドリトル先生」
「トムは真夜中の庭で」 「メリーポピンズ」 「ユーリッヒ・ケストナー」
「フランシス・ホジソン・バーネット」

3～6歳

「かがくいひろし」 「バーバパパシリーズ」 「シュタイナー」 「ハリーポッター」
「ヨシタケシンスケ」 「かいけつゾロリ」 「おしりたんてい」 「小説」 「実用書」
「かぞくの時間（婦人の友社）」 「池波正太郎」 「子育て雑誌（nina's、コードモエなど）」
「馬語手帖」 「はしっこに馬といる」 「図鑑」 「沖縄の絵本」 「のぶみさんシリーズ」
「福音館出版の絵本」 「のりものの本」 「ウォーリーを探せ」 「東野圭吾」 「原田マハ」
「サンタクロース島のサンタクロースシリーズ」 「萩原浩」 「残念な生き物図鑑」
「ドリトル先生シリーズ」 「恐竜の本」 「虫の本」 「はだしのゲン」 「熊田千佳慕」
「藤城清治」 「沖縄・与那国のガイドブック」

小1・2年

「東野圭吾」 「鏡リュウジ」 「山田悠介」 「池上永一」 「本多孝好」 「やましたひでこ」
「有川浩」 「宮部みゆき」 「料理本」 「海の生物についての本」 「おしりたんてい」
「マジックの本」 「DVD 貸し出し」

小3・4年

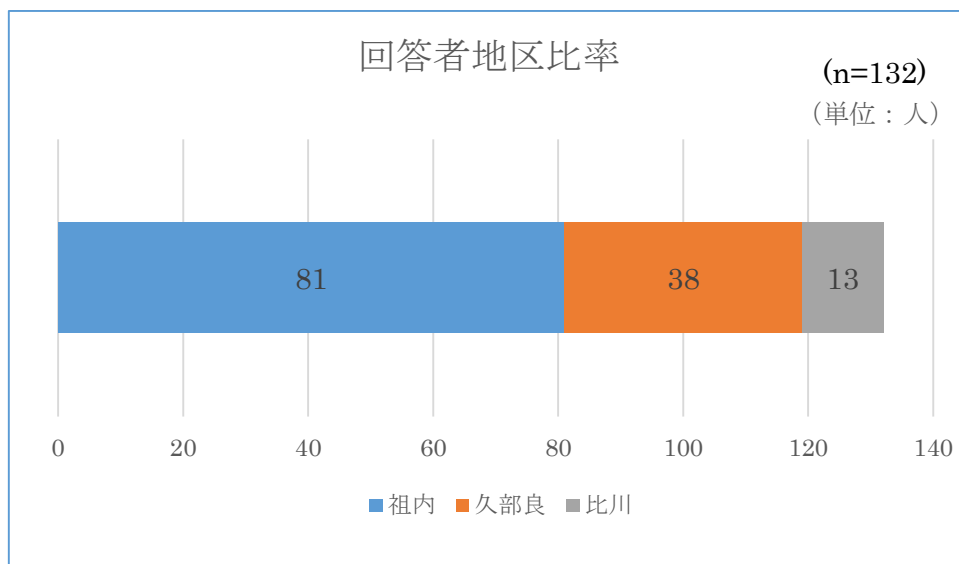
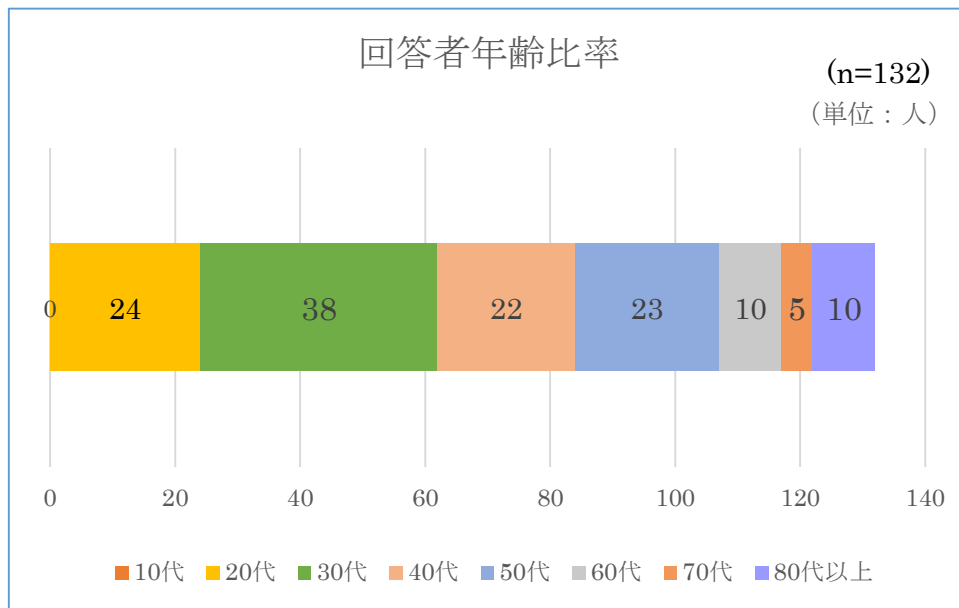
「サンキュ！」 「料理本」 「夫然生活」 「くーよん」 「おきなわいちば」 「谷川俊太郎」

小5・6年

「料理の本」

3 一般町民調査

1) 回答者の内訳

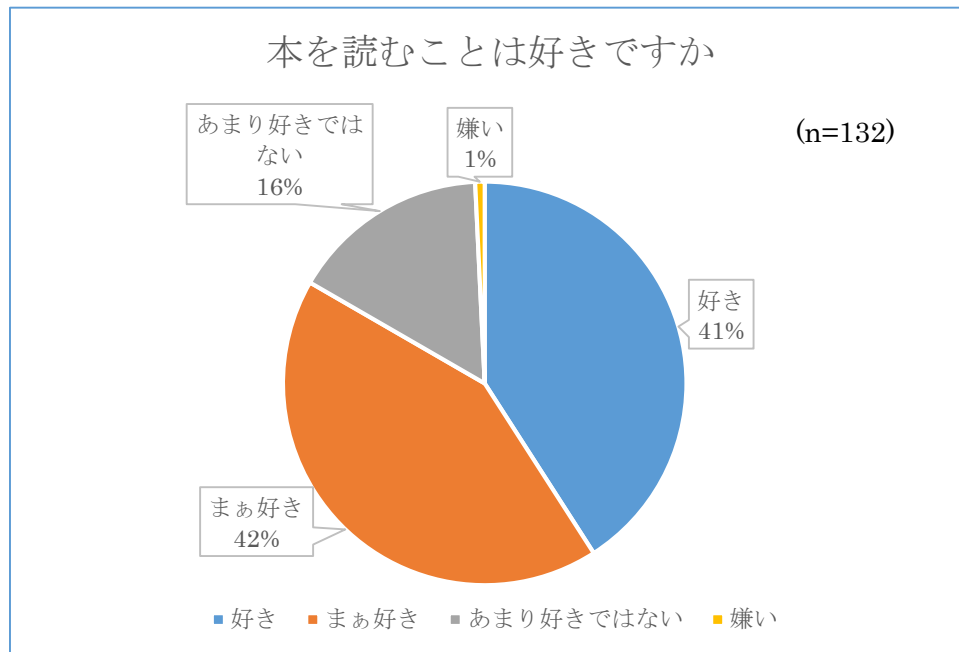


2) 読書の意識と習慣について

■設問2 あなたは本を読むことは好きですか

「好き」「まあ好き」を合わせると83%となる。

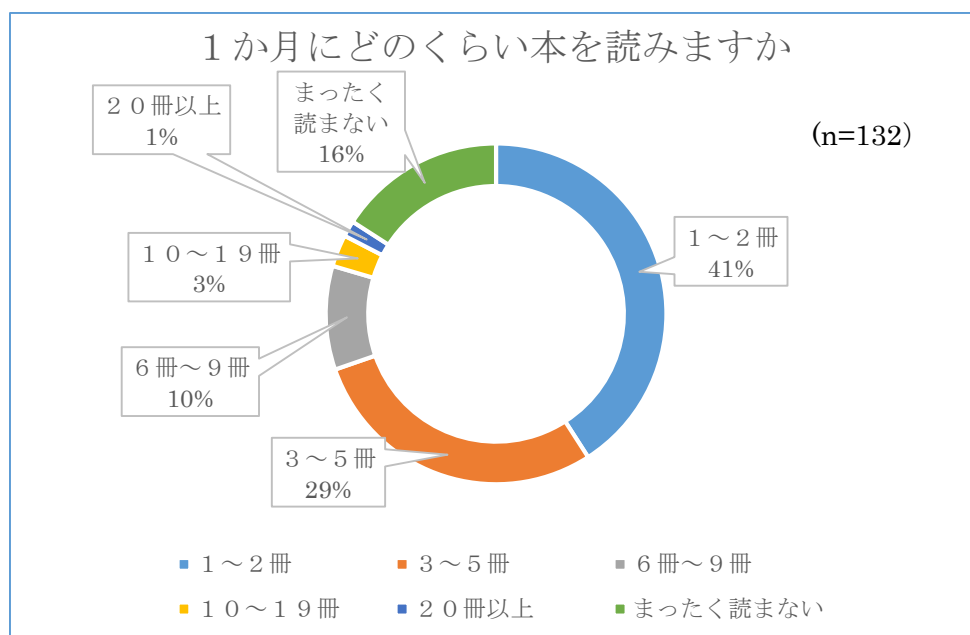
また、20代から50代で「あまり好きではない」「嫌い」と回答した人は約18%と同率で、世代間での好き嫌いのパーセンテージの大きな差は見られない。

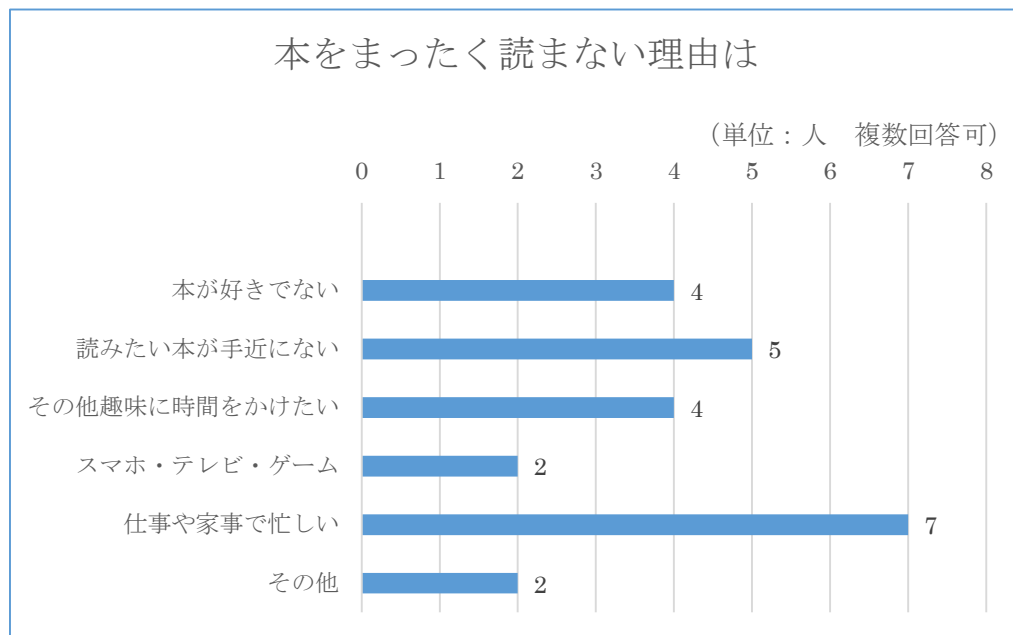


■設問3 あなたは1か月にどのくらい本を読みますか

「1冊～2冊」が41%と一番多く、次いで「3～5冊」が29%と続き、全体の7割を占めた。20代と80代以上の内、25%～30%が「まったく読まない」と回答した。

「まったく読まない」理由は次のグラフのとおりである。「その他」は2人とも80代以上の回答で「目が疲れる」「新聞しか読まない」との回答である。





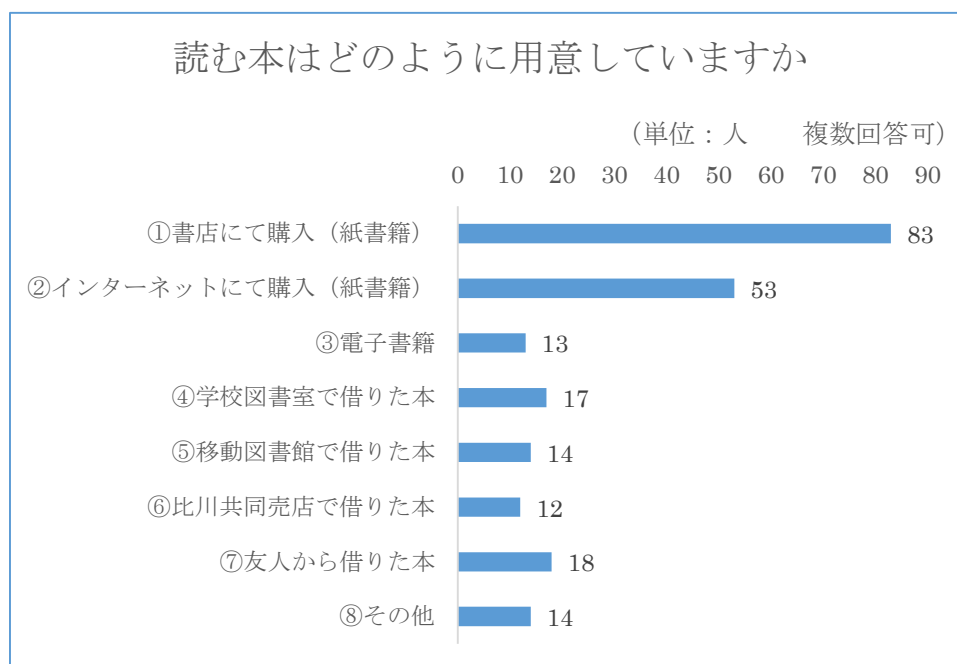
■設問4 読む本はどのようにして用意していますか

「書店にて購入」が83人と一番多く、次いで「インターネットにて購入」が53人と続いた。

また、「電子書籍」が13人と他の2つの調査に比べ、数値が高い。

「移動図書館で借りた本」「比川共同売店で借りた本」が10人代前半に留まるため、移動図書館の開催や、協力貸し出しについての周知に力を入れる必要がある。

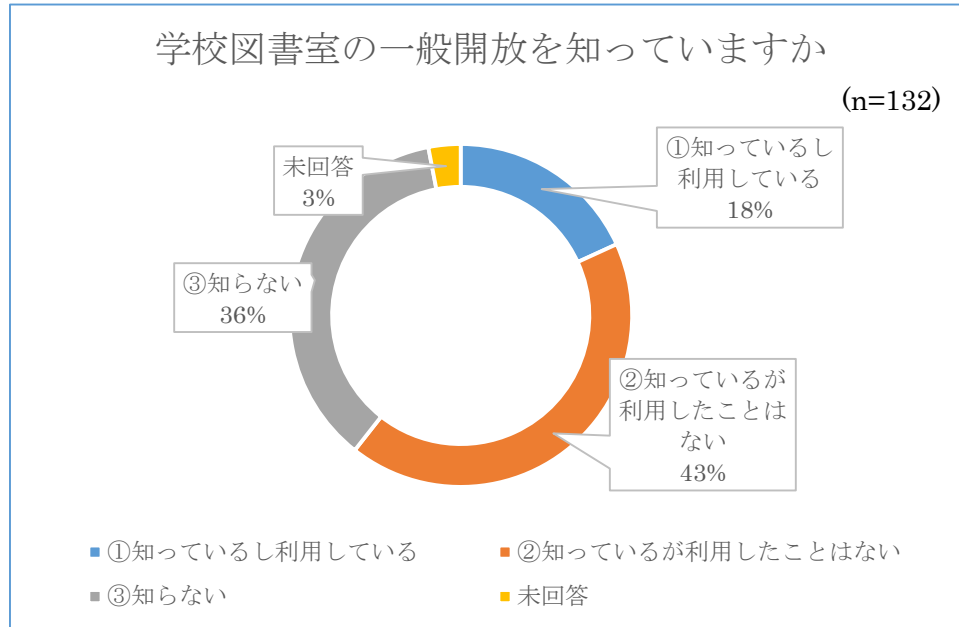
「その他」として、「職場で借りた本」「島内で購入」「持っている本を読み返す」「孫が借りてくる本」「コンビニで購入」などがあがった。



■設問5 学校図書室の一般開放についてご存知ですか

保護者調査に比べ「知っているし利用している」割合がやや増加しているが、数値は10%代に留まっている。また、「知っているし利用している」と回答したのは20代から50代となっており、60代以上は0人となった。

80代以上については8人全員が一般開放について「知らない」と回答している。



3) 町営図書館（室）設置の必要性について

■設問6 与那国町に図書館（室）は必要だと思いますか

回答者の81%である107人が図書室（館）は「必要」と回答した。

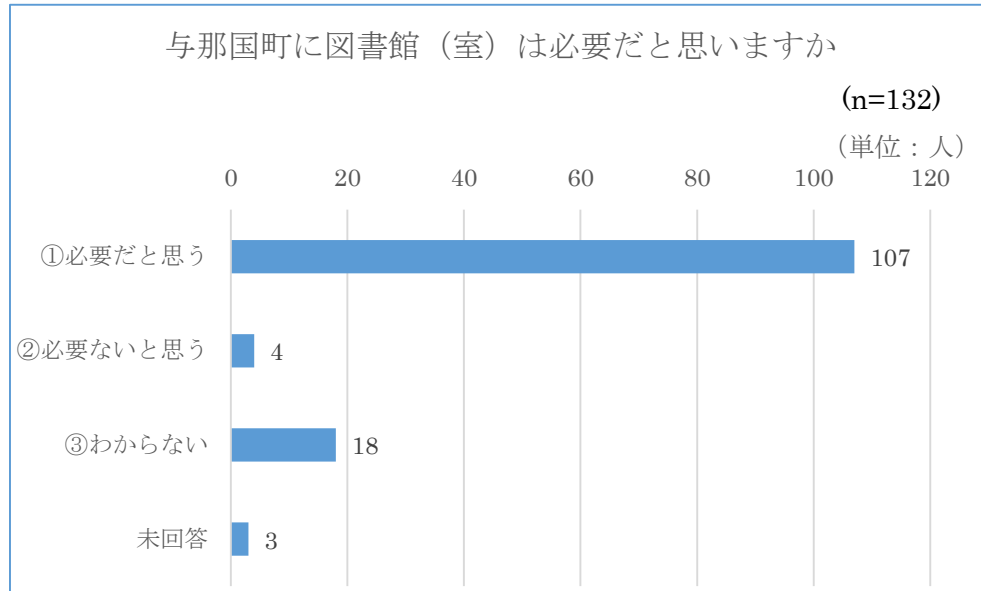
「必要」と回答した方の自由意見として下記のとおり。（抜粋）

- ・地元の方だけでなく仕事や観光で来島している人にも気軽に使える図書館があればいいと思います
- ・図書室の開館を数年前から待ちわびています。子ども達、お年寄りの見守り、観光客が与那国を知る場、住民の教養を高める場など、幅広い年代層がいつもさりげなく集えるのが図書館ではないかと考えます。ぜひ与那国町に図書館を！実現させてほしいです。
- ・運用計画が実現できますように期待しています。
- ・以前から話しは聞いておりますがなかなか実現はしておりませんね。今後実現していただきたいですね。
- ・非常に必要だと感じています。本を読むことがあまりない。町営の図書事業はぜひ必要です。頑張ってください。
- ・日ごろの本に触れあう日が少ないと感じる。子どもたちも学校の本だけでは少ないと思う。
- ・持続できる規模でいいと思うので、長く利用できる組織（予算含む）ができるとよいと思います。

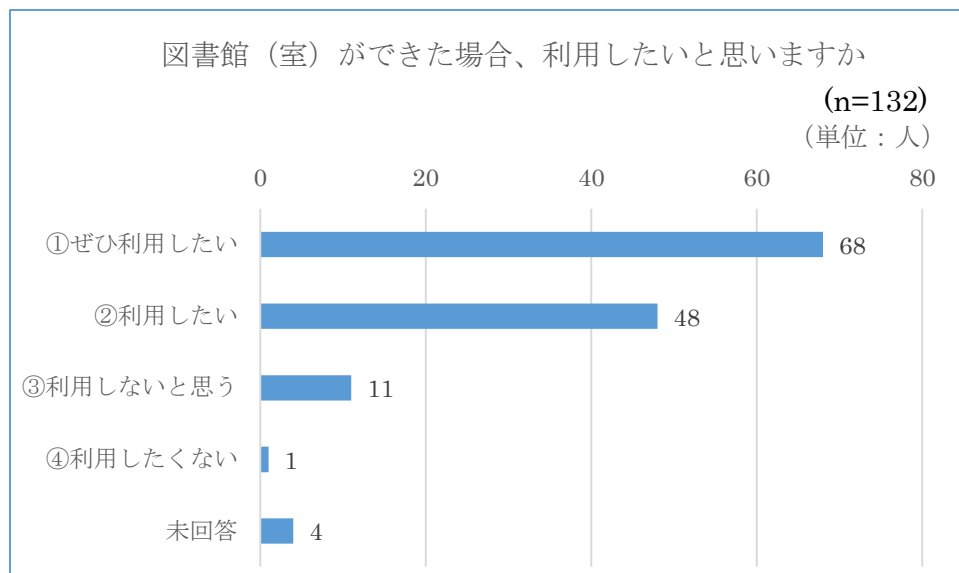
- ・こちらに引っ越してきて、書店や図書館がないことに驚きました。子ども達は本が大好きです。大人も。ぜひ与那国に図書館をつくってほしいです。

「必要ない」「わからない」と回答した方の自由意見として下記のとおり。 (抜粋)

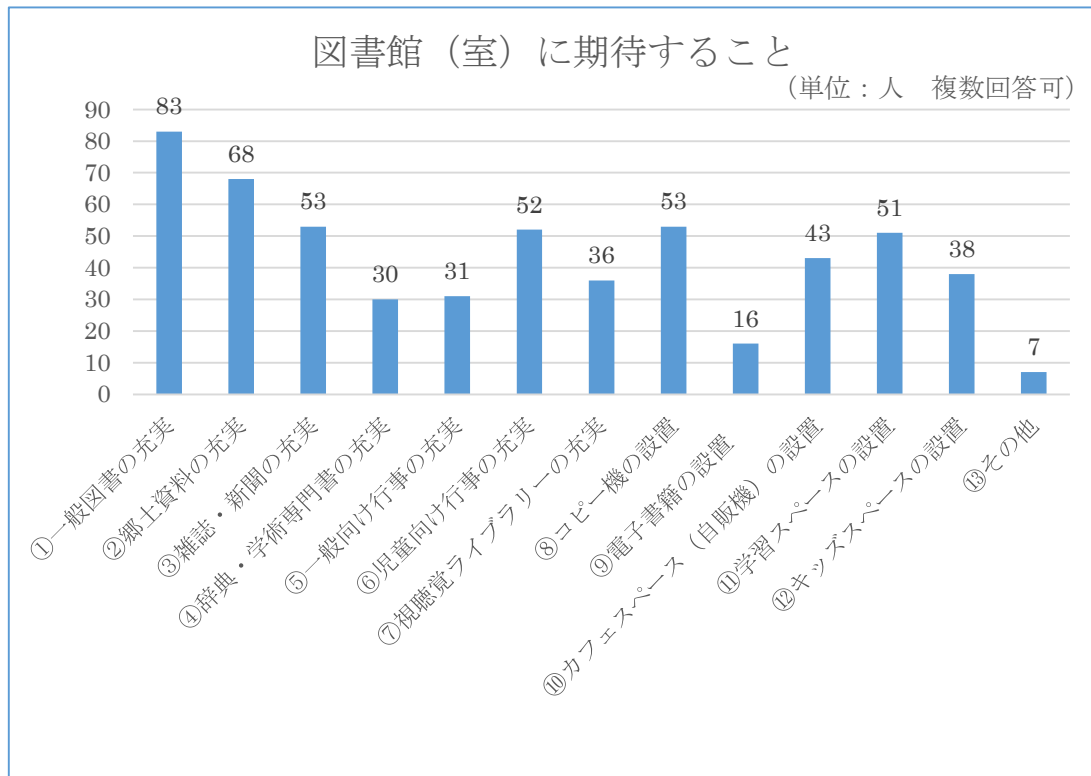
- ・移動図書館で十分であると思う。図書館があっても利用する時間がない。
- ・移手段がないから使わない



- 設問7 与那国町に図書室（館）ができた場合、あなたは利用したいと思いますか
「ぜひ利用したい」「利用したい」を合わせると、回答者の88%が利用したい意向を示した。



■設問8 図書館（室）に期待することで該当する数字に○をつけてください



その他の意見として・・・（抜粋）

「Wi-Fiのある談話室がほしい」「住民の見守り」「歩いていける場所にほしい」

「インターネット接続ができるPCスペース」「昔からの本があってほしい」

「町営図書館設置した場合、学校との連携の工夫をお願いします。特に図書司書の配置を強く要望します」

「静かに本を読んだり、調べ学習をする部屋をぜひお願いします（キッズスペースと離してほしい）」

「与那国に本屋さんがないので、新刊の本を少しでも多く取りそろえてもらえるとうれしいです」

「図書館司書が常時在席し、レファレンスサービスやレフェラルサービスに特化してほしい」

「生涯学習にも重視した活動や蔵書をしてほしい」

「町営図書館に自動貸し出し機があれば良いなあと思います。狭い地域なので、図書室のスタッフと知り合いということもあると思います。そうすると、病気の本など借りにくいものもでてくる可能性があるなので、貸し出し・返却は機械の方が貸し出し冊数も増えると思います」

「新しい建物はつくる必要がなく、あるもので場所を使ったらいい」

「祖納ばかりでなく、久部良に作ってほしい」

「人口の少なさ故、学術専門書の蔵書には消極的になると思うがなるべく行ってほしい」

「本を読むだけでなく、年齢を問わずに勉強や資料作成ができるスペースもぜひほしいです！！」